

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英 語	英語表現Ⅱ	4	3 年 普通科 選択 b

科目概要と目標	この科目は「英語表現Ⅰ」の学習を踏まえ、英語による表現力を伸ばすように設定されたものである。 「英語表現Ⅱ」の目標は、次の二つの要素から成り立っている。 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ・英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を伸ばすこと。	
教科書・副教材	Vivid English ExpressionⅡ NEW EDITION(第一学習社) Vivid English ExpressionⅡ NEW EDITION WORKBOOK (第一学習社)	
評価の観点	コミュニケーションに対する関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
	表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
	理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語・文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価の方法	各学期とも、定期試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価する。 【試験】（1 学期）中間試験・期末試験（2 学期）中間試験・期末試験（3 学期）学年末試験 【課題】ワークブック、プリント等	

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションに対する関心・意欲・態度）b（表現の能力）c（理解の能力）
d（言語・文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	Lesson 1 ～ Lesson 5	・学校生活、日常生活や交際、芸術や音楽、買い物、科学についての基礎的な表現方法を学ぶ。 ・現在形、過去形、進行形、未来を表す表現、現在完了形、過去完了形、未来完了形、助動詞の働き、受動態等を用いた文を学習する。	○	○	○	○
5	Lesson 6 ～ Lesson 10	・自分の尊敬する人物、自分の好きな科目、将来就きたい職業について英語で発表することができる。 ・与えられたテーマについて自分の立場を決め、意見を整理して英語で書くことができる。 ・進行形および完了形の受動態、群動詞の受動態、to-不定詞の働きと意味、seem to-不定詞、It seems that...、It takes [costs] ... to-不定詞、S+V+O（動名詞、to-不定詞）、動名詞を学習する。	○	○	○	○
6						

7	Lesson11 ～ Lesson15	・ 英語で誰かを催しに招待する提案や、自分の旅行の思い出、環境問題等与えられたテーマについて自分の立場を決め、意見を整理して英語で書くことができる。	○	○		
8		・ 動名詞の否定と意味上の主語の表し方、分詞の形容詞用法、知覚動詞＋O＋原形、使役動詞＋O＋原形、have [get] ＋O＋過去分詞、～ingを含む表現、with＋名詞＋分詞、比較表現等を学習する。			○	○
9						
	Lesson16 ～ Lesson20	・ 歴史を学ぶ大切さ、世界平和実現のためには何が必要か、科学技術の発展、大学進学目的について自分の意見を整理して英語で発表することができる。	○	○		
10		・ 比較級および最上級の強調、いろいろな接続詞の働き、関係代名詞、関係副詞、仮定法等を学習する。			○	○
	Lesson21 ～ Lesson25	・ 情報通信技術の発達の利点と欠点、自分が社会のためにしたいこと、「天候・天気」の場面をふまえて「感謝・喜び」の表現、「事故・災害」の場面をふまえて、「謝罪・同情」の表現、「希望・願望」の表現を用いて祖父母としてみたいことについて、英語で書くことができる。	○	○		○
11		・ 部分否定、二重否定、否定語主語、準否定、強調表現、名詞構文、「感謝・喜び」の表現、「謝罪・同情」の表現、「希望・願望」の表現を学習する。			○	○
	Lesson26 ～ Lesson32	・ 「申し出、提案・勧誘」の表現、「承諾・拒否」の表現、「助言・依頼」の表現、「許可・命令」の表現、「原因・理由」の表現、「予定・意図」の表現、「推論、条件・仮定」の表現を学習する。			○	○
12		・ 与えられた設定において、学習した表現を用いて、英語で書くことができる。	○	○		
	Lesson33 ～ Lesson40	・ 例示のパラグラフ構成、列挙のパラグラフ構成、比較・対照のパラグラフ構成、原因・結果のパラグラフ構成、時間配列のパラグラフ構成、スピーチの構成、ディベートやディスカッションの流れ、ルール、方法を学習する。			○	○
1						
2		・ 与えられたテーマや選んだトピックについて英語で文を書くことや、スピーチ、ディベート、ディスカッションをすることができる。	○	○		

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	2 学年 普通科・水産科

科目概要と目標	コミュニケーション英語Ⅱは、コミュニケーション英語Ⅰの学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすために、以下を目標とします。 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。		
教科書・副教材		Revised COMET English Communication II (数研出版) 改訂版 COMET English Communication II ベーシックノート (数研出版) COMET 基本文法定着ドリル(数研出版)	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	表現の能力	文章の内容や自分の解釈が利き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	
	理解の能力	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	
	言語や文化についての知識・理解	英語を読む学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解する。	
評価の方法	各学期とも、定期試験、実力試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価します。 【試験】 （１学期）中間試験・期末試験、（２学期）実力試験・中間試験・期末試験、（３学期）実力試験・学年末試験 【課題】ワークブック、ノート、プリント、夏休み・冬休みの課題など		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）

c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 5	Lesson 1 Staying in Space	・宇宙での暮らしは、地上とどのように違うかを理解する。 ・動詞の目的語となる that 節の意味や用法を理解する。	○	○	○	○
6 7	Lesson 2 Doraemon in the U.S.	・アメリカに渡った日本の人気アニメ『ドラえもん』日米での内容の違いを理解する。 ・want +(人)+to 不定詞の意味や用法を理解する。	○	○	○	○
8 9	Lesson 3 Farm in the Sky	・シンガポールの垂直農場の特徴と利点を理解する。 ・疑問詞+to 不定詞の意味や用法を理解する。	○	○	○	○
10 11	Lesson 4 Goal Setting	・効果的な目標の立て方を理解する。 ・分詞構文の意味や用法を理解する。	○	○	○	○
12 1	Lesson 5 The High School Student Restaurant	・高校生レストランで働く生徒の日記から、活動内容を理解する。 ・形式主語 It is ~ to 動詞の原形の意味や用法を理解する。	○	○	○	○
2 3	Lesson 6 Why Is It That Shape?	・さまざまなモノの形の理由を探る。 ・関係代名詞 (what) の意味や用法を理解する。	○	○	○	○

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	3 学年 普通科

科目概要と目標	コミュニケーション英語Ⅱは、コミュニケーション英語Ⅰの学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすために、以下を目標とします。 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。		
教科書・副教材		Revised COMET English Communication II (数研出版) 改訂版 COMET English Communication II ベーシックノート (数研出版) COMET 基本文法定着ドリル(数研出版)	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	表現の能力	文章の内容や自分の解釈が利き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	
	理解の能力	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	
	言語や文化についての知識・理解	英語を読む学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解する。	
評価の方法	各学期とも、定期試験、実力試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価します。 【試験】 （１学期）中間試験・期末試験、（２学期）実力試験・中間試験・期末試験、（３学期）実力試験・学年末試験 【課題】ワークブック、ノート、プリント、夏休み・冬休みの課題など		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）

c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	Lesson 7	・変化し続けることばについて、生活様式や人々の感覚の変化に着目し考える。 ・関係代名詞の継続用法を理解している。 先行詞, + 関係代名詞 who/which	○		○	
5	Changing Language			○		○
6	Lesson 8	・日本で行われている「サービス」への外国人の意見を参考にし、サービスについて改めて考える。 ・無生物主語を理解している。	○		○	
7	Do We Need That?			○		○
8	Lesson 9	・睡眠の意義や健康との関係について、その重要性を認識する。 ・使役動詞を理解している。 make, let, have + 目的語 + 動詞の原形	○		○	
9	Sleep			○		○
10		・南アフリカでの出来事から、人種を超えた絆を知る。 ・知覚動詞を理解している。 主語 + 知覚動詞 + 目的語 + 動詞の原形	○		○	
11	Lesson10			○		○
12	Win for Our	・痛くない注射針を開発した企業から、大企業だけでなく中小企業でも世界に通用する大きな仕事をするのが可能なことを学ぶ。 ・仮定法 *If + 主語 + 動詞の過去形, 主語 + would/could/might + 動詞の原形 *If + 主語 + had + 過去分詞, 主語 + would/could/might + have + 過去分詞	○		○	
1	Nation			○		○
2	Lesson 11	・英語で語られる実話から、英語の文で心情を追うことに慣れる。	○		○	
3	From Small Factories to the World			○		○
	Reading2	・英語で語られる実話から、英語の文で心情を追うことに慣れる。	○		○	
	I Will Be Your Eyes					

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語科	英語会話	2	2 年 普通科・水産科 選択 B

科目概要と目標	英語会話では、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養うことを目標とします。 内容としては、生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように、具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行います。 ・相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 ・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 ・海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話する。		
教科書・副教材		SELECT English Conversation（三省堂） SELECT English Conversation Workbook（三省堂）	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	表現の能力	日常的な話題についての英語を話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現する。	
	理解の能力	日常的な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する。	
	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解する。	
評価方法	各学期とも、授業への取り組み（発表、グループワーク、練習等）、授業内に実施する小テスト、課題の提出状況を総合的に評価します。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）
c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
4	Lesson 1 New Friends	＜興味のあるものを言う＞ 出身地や部活動、趣味などについてたずね、答える表現を使うことができる。	a	b	c	d
			○	○		

	Lesson 2 Free Time	<余暇について話す> 休日の過ごし方をたずね、答えることができる。		○	○	
5	Lesson 3 Are You Okay?	<体調について話す> 体調をたずね、答える表現を使うことができる。体調が悪い相手に同情やアドバイスをする表現を使うことができる。	○		○	
6	Lesson 4 Our School	<学校について話す> 学校の特徴や行事等についてたずね、答える表現を使うことができる。			○	○
7	Lesson 5 Weather	<天気・気候について話す> 天気・気候についてたずね、答える表現を使うことができる。		○	○	
8 9	Lesson 6 TV Programs	<自分の好みを言う> 好きなもの（こと、人）についてたずね、答えることができる。	○		○	
	Lesson 7 Talking on a Cell Phone	<都合をたずねる> 電話で話せるかたずねる表現、話せない場合の理由を述べる表現、時間通りに来られるかをたずねる表現、遅れる場合の理由を述べる表現を使うことができる。			○	○
10	Lesson 8 Telling the Way	<道をたずねる> 道を案内する表現や道をたずねる表現を使うことができる。	○	○		
11	Lesson 9 Kyoto	<乗り物での行き方をたずねる> 目的地への行き方をたずね、答える表現を使うことができる。乗り換えの駅や乗車時間をたずね、答えることができる。		○	○	
12	Lesson 10 Shopping	<ほしいものを買う> 欲しいものの色・サイズ・値段などを伝える表現を使うことができる。	○	○		
1	Lesson 11 Restaurant	<食事を注文する> レストランで料理・飲み物・デザートを注文する表現を使うことができる。		○	○	
2	Lesson 12 Making a Plan	<誘う/誘いに応じる> 空いている日をたずねる表現、別な日にちを提案する表現、待ち合わせの場所と時間を決める表現を使うことができる。			○	○
3	Lesson 13 Future Jobs	<理由を述べる> なりたい職業をたずね、答える表現を使うことができる。理由を答える表現を使うことができる。	○	○		

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語科	英語会話	3	3 年 普通科 選択 A

科目概要と目標	英語会話では、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養うことを目標とします。 内容としては、生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように、具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行います。 ・相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 ・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 ・海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話する。		
教科書・副教材		SELECT English Conversation（三省堂） SELECT English Conversation Workbook（三省堂）	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	表現の能力	日常的な話題についての英語を話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現する。	
	理解の能力	日常的な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する。	
	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解する。	
評価方法	各学期とも、授業への取り組み（発表、グループワーク、練習等）、授業内に実施する小テスト、課題の提出状況を総合的に評価します。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）
c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
4	Lesson 1 New Friends	＜興味のあるものを言う＞ 出身地や部活動、趣味などについてたずね、答える表現を使うことができる。	a	b	c	d
			○	○		

	Lesson 2 Free Time	<余暇について話す> 休日の過ごし方をたずね、答えることができる。		☐	☐	
5	Lesson 3 Are You Okay?	<体調について話す> 体調をたずね、答える表現を使うことができる。体調が悪い相手に同情やアドバイスをする表現を使うことができる。	☐		☐	
6	Lesson 4 Our School	<学校について話す> 学校の特徴や行事等についてたずね、答える表現を使うことができる。			☐	☐
7	Lesson 5 Weather	<天気・気候について話す> 天気・気候についてたずね、答える表現を使うことができる。		☐	☐	
8 9	Lesson 6 TV Programs	<自分の好みを言う> 好きなもの（こと、人）についてたずね、答えることができる。	☐		☐	
	Lesson 7 Talking on a Cell Phone	<都合をたずねる> 電話で話せるかたずねる表現、話せない場合の理由を述べる表現、時間通りに来られるかをたずねる表現、遅れる場合の理由を述べる表現を使うことができる。			☐	☐
10	Lesson 8 Telling the Way	<道をたずねる> 道を案内する表現や道をたずねる表現を使うことができる。	☐	☐		
	Lesson 9 Kyoto	<乗り物での行き方をたずねる> 目的地への行き方をたずね、答える表現を使うことができる。乗り換えの駅や乗車時間をたずね、答えることができる。		☐	☐	
11	Lesson 10 Shopping	<ほしいものを買う> 欲しいものの色・サイズ・値段などを伝える表現を使うことができる。	☐	☐		
	Lesson 11 Restaurant	<食事を注文する> レストランで料理・飲み物・デザートを注文する表現を使うことができる。		☐	☐	
12 1	Lesson 12 Making a Plan	<誘う/誘いに応じる> 空いている日をたずねる表現、別な日にちを提案する表現、待ち合わせの場所と時間を決める表現を使うことができる。			☐	☐
	Lesson 13 Future Jobs	<理由を述べる> なりたい職業をたずね、答える表現を使うことができる。理由を答える表現を使うことができる。	☐	☐		

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語科	英語表現 I	2	2 年 普通科 全クラス

科目概要と目標	英語表現Ⅰでは、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養うことを目標とします。 内容としては、情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行います。 ・与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 ・読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。	
教科書・副教材		SELECT English Expression I New Edition（三省堂） SELECT English Expression I Workbook New Edition（三省堂）
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
	表現の能力	日常的な話題についての英語を話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現する。
	理解の能力	日常的な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する。
	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解する。
評価の方法	各学期とも、定期試験、実力試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価します。 【試験】 （１学期）中間試験・期末試験、（２学期）実力試験・中間試験・期末試験、（３学期）実力試験・学年末試験 【課題】ワークブック、ノート、プリント、夏休み・冬休みの課題など	

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）
c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
4	Let's start 品詞・語順	各品詞の種類や役割、英語の語順を理解し、基本的な英語を読んだり書いたりする。	a	b	c	d
			○	○		

	Lesson 1～4 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、未来表現	be動詞・一般動詞の現在形・過去形、進行形、未来表現を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
5	Lesson 5 芸能 現在完了形① 継続・経験	日本の芸能文化について理解するとともに、継続・経験を表す現在完了形を用いて、適切に英語で表現する。			○	○
6	Lesson 6 日本文化 現在完了形②完了・現在完了進行形	日本の伝統文化について理解するとともに、完了を表す現在完了形および現在完了進行形を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
7	Lesson 9 生き物 不定詞①副詞的用法・名詞的用法	生き物を通して自然環境について理解するとともに、不定詞の各用法を用いて、適切に英語で表現する。		○		○
8 9	Lesson 10 生き方 不定詞②形容詞的用法 It ～(for…) to～	様々な生き方を通して自分の生き方について考えるとともに、不定詞の各用法を用いて、適切に英語で表現する。	○		○	
10	Lesson 11 自然科学 動名詞	様々な自然科学に関する事象について理解するとともに、動名詞を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
11	Lesson 12 芸術 受動態	芸術作品に関する背景・事象等を理解するとともに、受動態を用いて、適切に英語で表現する。	○		○	
12 1	Lesson 13 外国語・ことば 分詞、現在分詞・過去分詞	外国語やことばに関して、様々な言語や方法があることを理解するとともに、分詞の用法を用いて、適切に英語で表現する。			○	○
	Lesson 14 ご当地 関係代名詞① that/who/which	ご当地の役割や意味を理解するとともに、関係代名詞を用いて、適切に英語で表現する。		○	○	
2	Lesson 15 活躍する高校生 関係代名詞② what 関係副詞 where / when	高校生が活躍する場や高校生と社会とのつながりについて理解するとともに、関係代名詞・関係副詞の各用法を用いて、適切に英語で表現する。			○	○
3	Lesson 16 地理 比較 比較級・最上級	世界の地理に関する主な情報を理解するとともに、比較の表現を用いて、適切に英語で表現する。	○	○	○	

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英語科	英語表現 I	2	3 年 水産科

科目概要と目標	英語表現 I では、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養うことを目標とします。 内容としては、情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行います。 ・与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 ・読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。	
教科書・副教材		SELECT English Expression I New Edition (三省堂) SELECT English Expression I Workbook New Edition (三省堂)
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
	表現の能力	日常的な話題についての英語を話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現する。
	理解の能力	日常的な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する。
	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解する。
評価の方法	各学期とも、定期試験、実力試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価します。 【試験】 （1 学期）中間試験・期末試験、（2 学期）実力試験・中間試験・期末試験、（3 学期）実力試験・学年末試験 【課題】ワークブック、ノート、プリント、夏休み・冬休みの課題など	

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）b（表現の能力）

c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	Let's start 品詞・語順	各品詞の種類や役割、英語の語順を理解し、基本的な英語を読んだり書いたりする。	○	○		
	Lesson 1～4 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、未来表現	be動詞・一般動詞の現在形・過去形、進行形、未来表現を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
5	Lesson 5 芸能 現在完了形① 継続・経験	日本の芸能文化について理解するとともに、継続・経験を表す現在完了形を用いて、適切に英語で表現する。			○	○
6	Lesson 6 日本文化 現在完了形②完了・現在完了進行形	日本の伝統文化について理解するとともに、完了を表す現在完了形および現在完了進行形を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
7	Lesson 9 生き物 不定詞①副詞的用法・名詞的用法	生き物を通して自然環境について理解するとともに、不定詞の各用法を用いて、適切に英語で表現する。		○		○
8 9	Lesson 10 生き方 不定詞②形容詞的用法 It～(for…) to～	様々な生き方を通して自分の生き方について考えるとともに、不定詞の各用法を用いて、適切に英語で表現する。	○		○	
10	Lesson 11 自然科学 動名詞	様々な自然科学に関する事象について理解するとともに、動名詞を用いて、適切に英語で表現する。	○	○		
11	Lesson 12 芸術 受動態	芸術作品に関する背景・事象等を理解するとともに、受動態を用いて、適切に英語で表現する。	○		○	
12 1	Lesson 13 外国語・ことば 分詞、現在分詞・過去分詞	外国語やことばに関して、様々な言語や方法があることを理解するとともに、分詞の用法を用いて、適切に英語で表現する。			○	○
	Lesson 16 地理 比較 比較級・最上級	世界の地理に関する主な情報を理解するとともに、比較の表現を用いて、適切に英語で表現する。	○	○	○	

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
英 語	コミュニケーション I	4	1 学年 普通科・水産科

科目概要と目標	この科目は、高等学校外国語科で英語を履修する場合、全ての生徒に履修させる科目である。 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養うことを目標としている。		
教科書・副教材		Rivised COMET English Communication I（数研出版） 改訂版 COMET English Communication I ベーシックノート（数研出版） COMET 基本文法定着ドリル 1（数研出版）	
評価の観点	コミュニケーションに対する関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	
	理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	
	言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	
評価の方法	各学期とも、定期試験、実力試験、課題の提出状況、授業への取り組み（発表等）を総合的に評価する。 【試験】（1 学期）中間試験・期末試験、（2 学期）実力試験・中間試験・期末試験（3 学期）実力試験・学年末試験 【課題】ベーシックノート、ドリル、プリント、夏休み・冬休みの課題など		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（表現の能力）c（理解の能力）d（言語や文化についての知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	Get Ready!	・自分のことやクラスメートのことを積極的に話そうとしたり、聞こうとしたりしている。 ・自己紹介によく使われる表現を使って、簡単な自己紹介をすることができる。	○			
5	Lesson 1 Why Do You Study English?	・英語を学ぶ必要性について関心を持ち、積極的に自分の意見を発言しようとしている。 ・本文に出てくる生徒たちが挙げている「英語を学ぶ理由」について理解できる。 ・現在形・過去形の用法を理解している。	○		○	
	Lesson 2 Washoku: Our Traditional Food	・本文の内容を簡潔にまとめて話すことができる。 ・助動詞の基本的な用法を理解している。		○		○
6	Lesson 3 What Should I Do ?	・本文の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話したり書いたりすることができる。 ・ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。 ・進行形の用法を理解している。	○	○		○

7	Lesson 4 My School, Your School	・日本の学校と海外の学校の違いに関心を持ち、自分たちの学校生活について積極的に発言しようとしたり聞こうとしたりしている。 ・不定詞の用法を理解し、正しい文を書くことができる。	○		○	
8	Lesson 5 Peace, the Polar Bear	・ピースを哺育する高市さんの苦労について理解できる。 ・動名詞の基本的な用法を理解し、正しい文を書くことができる。		○	○	
9	Reading 1 Let's Try Riddles!	・英語のなぞなぞに関心を持ち、本文を読んで積極的なぞなぞを解こうとしたり、他の人の解答を聞こうとしたりしている。 ・It is～to....の構文について理解している。	○			○
10	Lesson 6 Flying Wheelchairs	・「空飛ぶ車いす」活動の概要について理解し、ボランティア活動について積極的に発言したり、聞こうとしたりしている。 ・現在完了形の基本的な用法を理解し、それを用いて正しい文を書くことができる。	○	○		
11	Lesson 7 Moving As One	・鳥や魚の群れやその行動ルールについて理解し、それが応用される分野について積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。 ・受け身の基本的な用法を理解し、それを用いて正しい文を書くことができる。	○	○		
12	Lesson 8 Convenience Stores : the Key to Their Success	・コンビニエンスストアの工夫について関心を持ち、他の店舗等で他にどのような工夫がなされているかをプレゼンテーションすることができる。 ・分詞の基本的な用法を理解し、本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。	○	○		
1	Lesson 9 Malala Yousafzai : Education Can Change the World	・パキスタンが抱える問題や、マララさんの行動・主張や学校教育の意義について理解し、積極的に発言したり、聞こうとしたりしている。 ・比較表現の基本的な用法を理解し、正しい文を書いたり、本文の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話したりすることができる。	○	○		
2	Lesson10 Ando Momofuku : the Father of Instant Noodles	・安藤氏がカップ麺を開発した経緯や彼の商品開発に対する姿勢について関心を持ち、当時の社会状況や食の重要性について積極的に発言したり、聞いたりしようとしている。 ・関係代名詞の基本的な用法を理解し、それを用いて正しい文を書くことができる。	○	○		
3	Reading 2 Hachiko	・分からない単語や表現があっても、推測するなどして読み続けようとしている。 ・物語の展開やあらすじが理解でき、本文の内容を簡潔にまとめて話すことができる。	○		○	

